



**千葉聴覚障害者センター** [情報提供施設] 機関紙 令和8年 1月号 No.55

発行責任者: 植野圭哉  
発行: 社会福祉法人 千葉県聴覚障害者協会

〒260-0022 千葉県千葉市中央区神明町 204-12  
TEL.043-308-6372 FAX.043-308-5562

E-mail: chibadeaf@chibadeaf.or.jp  
https://www.chibadeaf.jp/

ふさ房総

CHI-BA+KUN 千葉県評定第 A2522-5号

## デフリンピック開催 共生社会への展望



令和7年11月15日～26日 東京2025デフリンピックは100年目の節目に当たる歴史的な記念大会が日本で開催され、79カ国2800人の選手が集まり、観客数約30万人を動員するという熱気あふれる大会となりました。

自国開催ということもあり、大会開始直後から気運は急上昇し、どの競技会場も受付前から、多くの観戦者が詰めかけ長蛇の列で受付開始を待つほどの盛況ぶり。世界中の手話の花が咲き、試合が始まると会場が一体となってサインエールが広がり、熱気に包まれた大会となりました。日本選手は21競技すべてに参加し白熱した試合展開で大活躍！日本選手団は大会史上初の51個（金16 銀12 銅23）を獲得しました。

千葉ゆかりの選手も大健闘、金メダル 2(女子バスケ・女子空手団体形) 銀メダル 2(男子サッカー・女子サッカー)銅メダル 1(男子柔道団体)

日本選手の活躍はマスコミでも連日報道され、デフリンピックイヤーの気運が一気に急上昇！多くの人たちがデフリンピックを知る機会となりデフスポーツの理解や手話コミュニケーションの魅力にふれる契機となりました。

東京2025デフリンピックは準備の段階から聞こえる人・聞こえない人と共同で作り上げた共生社会づくりの一つのモデルケースとなりました。

デフリンピックの公式コミュニケーションは国際手話。デフリンピックの情報コミュニケーション保障は日本手話通訳と国際手話通訳の連携により、各競技においてスタートランプやフラッグ、LED ランプジェスチャーなど視覚による情報保障など、デフスポーツの特徴や魅力について多くの人への啓発となりました。

応援の方法もアスリートに届くように、「サインエール」という目で見える新応援スタイルが考案され各競技会場でサインエールが轟きました。



## デフリンピックとしての初の試み【ろう者の競技解説者の配置】



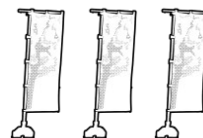
▲ライブ配信に、  
ろう者の競技解説者

東京2025デフリンピックでは、大会史上初、ろう者の手話言語による競技解説者が各競技に配置され、決勝戦のみ各競技 YouTube によるライブ配信が実施されました。

当法人植野理事長は柔道の解説者として登場しました。(左写真)

デフリンピックの認知度は昨年までの16%から徐々に上がり今年初めに39%、大会開催時には50%近くになったのではと予想されます。大会までの気運醸成の取り組みが功を奏しました。

### 千葉での気運醸成の取り組み



千葉県聴覚障害者協会主催で2年前からデフリンピック啓発イベントとして、ホタルイベント、七夕イベント、クリスマスイベント、新春イベントなどと銘打って、趣向を凝らした企画を展開。並行して、デフリンピック啓発映像上映会も県協会各市町村単位でも回を重ねて発信しました。また9月23日イオンモール船橋でアスリートの応援イベントを開催し、スタートランプ体験、デフリンピック啓発ビデオ上映、デフアスリートのミニ講演、アスリートへの応援、サインエールなどをアピールし数時間で6000人を集めるイベントとなりました。



▲キャラバンイベント（イオンモール船橋）

### キャラバンカーイベント

茨城県から千葉県へ▶  
我孫子市



8日間 26箇所



キャラバンカー2台が南北から東京会場に向かって各自治体などを巡回訪問し、行く先々で大勢の市民を巻き込んだイベントを開催し、啓発活動を展開しました。

千葉のキャラバンカーイベントは10月19日我孫子からスタート。19日朝、茨城県から千葉県に入り我孫子駅前ショッピングモールで引継ぎ式を開催、その後8日間にわたり各自治体、デフスポーツサポーター企業などを回り表敬訪問、デフアスリートの挨拶、スタートランプ体験、サインエールなど、様々な企画をつながながら多くの応援を背に走り、最終日10月26日海ほたるに入りました。洋上のキャラバンカーイベントは千葉ならではの企画。デフアスリートをはじめ内閣府、県庁職員、近隣市の首長はじめ、大勢の参加者が駆け付け、皆が見守る中で千葉県最後のキャラバンカーを見送りました。



▲海ほたる。神奈川県への引継ぎ式



## 千葉おもてなしイベント企画

海外からの空の玄関である成田空港を擁する千葉県ならではの「おもてなし企画」を11月23日～30日の期間に開催しました。デフリンピックで来日した外国人などへ、当センターを会場として日本の文化、日本のろう文化・歴史、芸術文化などに触れていただく企画です。ミニ講演も含め、映像や説明文に英語を付与、ろう当事者も含めた講師が担当しました。国際手話ボランティアについては、一年前から「国際手話ボランティア講座」を開設し、人材育成に努めました。

オランダ、韓国、ボスニア・ヘルツェゴビナ、スウェーデン、スリランカなどからの来所者があり、一日滞在し、また翌日に再び来所され、障害福祉サービス事業所の見学の希望が出るなど、「おもてなし企画」は大きな意味のあるものとなりました。



▲ろうアーティストによる作品展示

## デフリンピック開催による共生社会の展望

東京2025デフリンピックは、聞こえる人と聞こえない人、子供たちも引き入れて、準備の段階から共同作業で作上げた大会であり、気運醸成イベント・キャラバンカーイベントを通して当事者・手話関係者・行政・多くの市民と共に大きな輪につながりました。

手話・ハンドサイン・視覚情報などを用いたデフアスリートの戦う姿、視覚に訴える新たな応援の形「サインエール」を共に体験するプロセスを通して、デフスポーツや手話、ろう文化の魅力や価値への理解を促進する。そして、それだけでなく、互いの違いを認め合い尊重しあうことへの価値を共有するきっかけともなり共生社会の一步となりました。

デフリンピックの成果はスポーツを超えて、今後は福祉、医療、教育、様々な分野に波及しそれぞれの分野で誰もが個性を生かし、力を発揮できる共生社会への道筋を作ることが期待されます。



画：柏木信博

## 手話ができるヘルパー養成講座 (介護職員初任者研修課程)



この講座は、社会福祉法人丸紅基金からの助成金を受け、23回の講座を約4カ月間で行いました。6月22日よりスタートし、10月19日に閉講式が行われました。講義・実技の全ての講座で手話通訳・要約筆記が補償されるという環境で、受講生13名全員が、修了試験に合格し修了書が授与されました。

## 聞こえにくい人の交流会(要約筆記付き)

日時:1月25日(日)13時30分～15時30分  
会場:旭市 海上公民館

※日頃思っている事などを話します。  
文字でコミュニケーションをサポートします。

【お問い合わせ先】

日時:2月22日(日)13時30分～15時30分  
会場:大網白里市 中央公民館

NPO法人千葉県中途失聴者・難聴者協会  
広域担当理事 古川 FAX:047-432-8039

中途失聴  
& 難聴者  
情報



## 🏠 「地域で暮らしていくということ〈グループホーム〉」

手話・筆談・触手話など個々のコミュニケーション方法で話せる生活の場として平成26年(2014年)5月に開所した障害福祉サービス グループホーム「らいおんホームそが」は、皆様のご支援のおかげで11回目のお正月を迎えました。オープン以来、地域の夏祭り・クリーンデーなど町内会行事に参加させていただく一方、奇声や行動障害などで、ご不安やご迷惑をおかけすることもあり、その都度、「障害」について理解しようとしてくださる地域皆様のあたたかいまなざしに見守られていることに気づかされ感謝をしています。

ご利用者が、地域社会の一員として過ごせるよう、いつの日か「支援される側」ではなく「地域に貢献できる場」として地域の皆様と歩んでいけるようご利用者とともに努力を重ねていきたいと思っています。



みんなで作るから楽しい！  
バイキング昼食

## NHK 文化センター主催の文化講座「手話教室」

意は講座には通えないけれど  
手話を習ってみよう！

### 手話通訳 講師派遣

一人一人のレベルに合わせた、  
丁寧で楽しい講座  
千葉聴覚障害者センターの登録  
講師が手話指導しています。

初めて手話を  
学びました。  
とても楽しかった  
です。

- ① **千葉教室** (JR 千葉駅より 徒歩3分)  
千葉市中央区富士見2-3-1 塚本大千葉ビルディング  
第1・第3土曜日 13:30~15:00  
お問い合わせ:043-202-7231
- ② **柏教室** (JR 柏駅より 徒歩3分)  
柏市末広町4-16 小田山ビル4階  
第1・第3土曜日 10:00~11:30  
お問い合わせ:04-7148-1711

講師派遣の  
問合せ先:043-308-6373  
千葉聴覚障害者センター  
(普及係 佐藤)

### 千葉県登録要約筆記者実技指導講師研修

### 「重複障害を持つ難聴者への対応」

講師:植野圭哉所長

日時:令和8年3月18日(水)

13時30分~16時

場所:千葉聴覚障害者センター第1・2研修室

### 頸頸腕健診

通訳者の健康を守るため、全登録者を対象に毎年実施しております。12月に当センターと斎藤労災病院にて約200名が受診しました。

今年度初の試みとして、希望される方を対象に、同日に当センター会場にて、インフルエンザの予防接種を行いました。

### 映像ライブラリー 字幕入りDVD 貸し出し

新着!! 62作品 33盤面のDVDが届きました。  
詳細はHP 又はお問い合わせください。

## 養成講座のお知らせ

### <手話>

#### □手話通訳者認定試験

試験日:3月下旬予定

受験資格:手話通訳者全国統一試験合格者

#### □手話通訳者登録試験

試験日:3月下旬予定

受験資格:手話通訳者認定試験合格者及び  
手話通訳士試験合格者

### <要約筆記>

#### ◇2025年度全国統一要約筆記者認定試験

試験日:2026(令和8)年2月15日(日)

受験資格:要約筆記者養成講座修了者もしくは  
補習講習会を修了した要約筆記奉仕員

#### ◇要約筆記者登録試験

試験日:2026(令和8)年3月予定

受験資格:全国統一試験合格者

#### ◇要約筆記者実技指導講師登録試験

試験日:2026(令和8)年3月予定

受験資格:要約筆記者実技指導講師養成講座の修了者